

## 「看護職の厳しい状況に理解を 福井トシ子日本看護協会会長訴え」

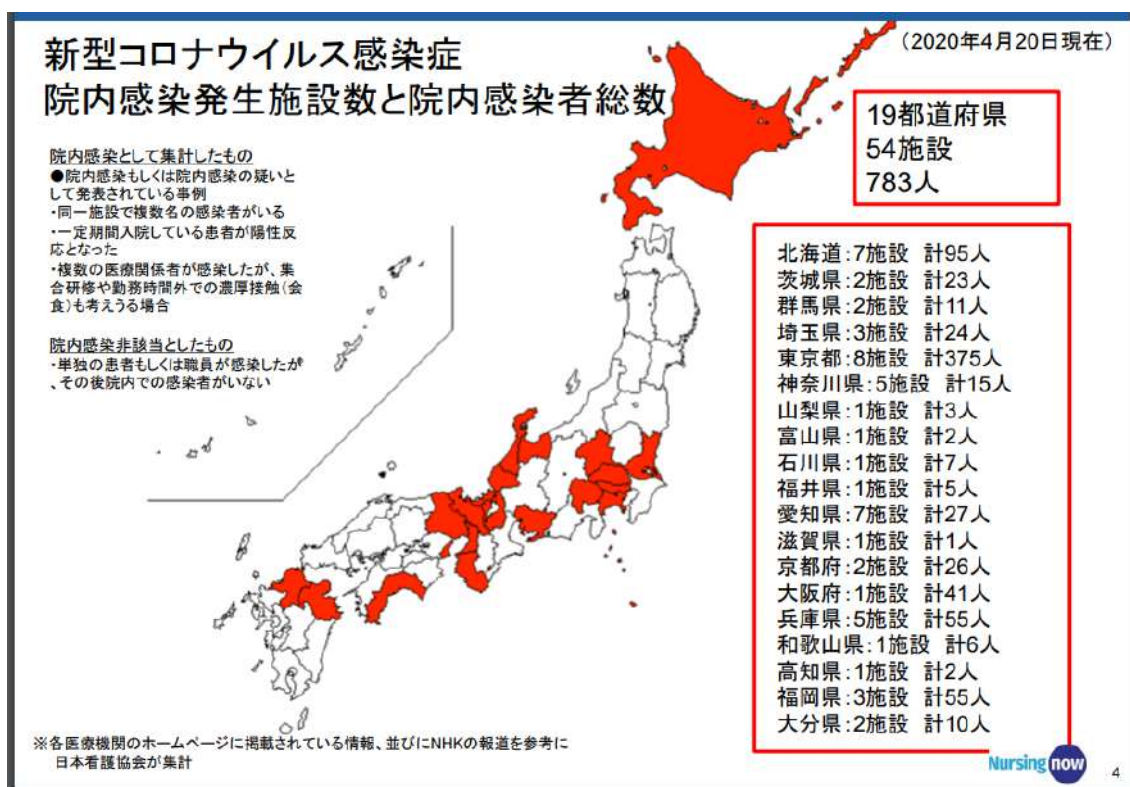
看護師、准看護師など約 74 万人の会員から成る日本看護協会の福井トシ子会長が 4 月 22 日、日本記者クラブで記者会見し、新型コロナウイルス対策の最前線で日夜、厳しい職務をこなす看護職に対する正しい理解を持ってほしいと要望した。福井氏は、看護職やその家族に対する偏見や差別が起きていることに注意喚起し、国民一人一人の行動が問われている、と訴えた。



福井氏によると、新型コロナウイルス感染症による院内感染は 4 月 20 日の時点で 19 都道府県の 54 施設で 783 人に上る。新型コロナウイルス感染患者を急ぎよ受け入れた医療施設がさまざまな対応に追われている中で、福井氏が特に強調したのは、感染防護関連用具や衛生材料の不足により、十分な感染防止策が取れていない現状だった。

中でも深刻なのは看護職の過酷な状況。一般病床が 40 の規模の病院を例にとると、新型コロナウイルス感染者を受け入れた場合、一人の看護師が受け持つことができる患者数が通常より少なくなってしまう。通常なら 20~29 人の看護師で対応可能なのに対し、最低でも 10 人の増員が必要になる。重症患者のための集中治療室では 1 人の看護師が担当できる患者はさらに少ない。10 床ある集中治療室であれば通常なら 24 人の看護師で回しているのが、さらに 24~72 人ももの増員が必要になる。増員数の幅が大きいのは、人工呼吸器が必要な患者の数、ECMO（体外式膜型人工肺）装着が必要な患者の数によって大きく変わるからだ。

看護師の増員は困難なため、病院は集中治療室で行う手術の延期、病棟閉鎖、外来患者の予約キャンセルなどで一般の患者を減らし、一般病棟や手術室の看護師を移動させるなどの対応でしのいでいる。結局、一人一人の看護師にかかる負担は増え、自身さらには家族が感染する恐れを抱きながら厳しい勤務を強いられるという状況となっている。



#### 福井トシ子日本看護協会会長記者会見資料から

こうした状況に輪をかけているのが、感染防護関連用具や衛生材料の不足。マスクやアルコール消毒、ガウンが特に不足している。看護師が防護服の代わりに75リットルのビニール袋を使用している病院だけでなく、訪問看護や介護施設の現場でも似たような状況が起きている。訪問看護の利用者・家族の中には発熱やせきなどの症状が続いている人もいるため、日に複数個所を訪問する看護師は感染の媒介者とならないよう注意が必要。しかし、個人用防護具やエタノール・ガーゼなどの衛生材料が不足し、調達できない。病院に限らず、すべての医療機関・訪問看護ステーション・介護施設で医療資材が不足している、と福井氏は看護師を取り巻く過酷な状況を紹介した

新型コロナウイルス感染者のケアによる看護師のもう一つの負担として福井氏が挙げたのは、看護の根本にかかわるジレンマを生じさせている現実。患者の傍に寄り添い、触れる行為などが制限され、患者が亡くなった場合も、通常と同じような丁寧な行為はできな

い。一礼して納体袋で見送りすることだけしか許されないなど、これまで体験し得なかった状況に置かれることによるストレスが増す。

新型コロナウイルス感による感染が始まった中国武漢市では、対応した医療従事者に不安、不眠、うつ症状など精神的な負担が高まっているという調査結果も公表されている。この調査結果は、看護師の精神的負担がいずれも医療従事者全体の平均より大きいことを示している。こうした中国の調査結果も併せて紹介し、福井会長は「今後、日本でも医療従事者のメンタルヘルスが重要になる」と注意喚起した。

さらに福井氏が強調したのが、看護職に対する差別や偏見。感染患者が入院している医療機関名が報道されたことにより、業務を終えた後、タクシー乗車しようとした際、看護職という理由で乗車を拒否された。看護師の子どもが通う保育所などから預かりの自粛を求められた。馴染みの定食屋などから看護職は来店しないでほしいと言われた。こうした看護職に対する差別や偏見は、看護職だけにとどまらず家族にも及んでいる。

感染症病床で勤務していることが夫の会社に知られ、夫が勤務先から休んでほしいと言われた。親が新型コロナウイルス感染症患者を受け入れている医療機関に勤務していることを理由に、学校で子供がいじめにあった。こうした深刻な例を紹介した後、福井氏は次のように呼びかけた。

「医療従事者の生活が脅かされることで医療崩壊へつながる恐れがある。風評被害、差別は公的財産である医療を支える看護職の不足につながっている。国民が不安であることも理解するが、医療関係者の日々の取り組みを支えていただきたい」



質問もインターネットを介して司会者が取り次ぐ形で行われた記者会見の様子

福井氏の記者会見は、感染防止のため司会者など日本記者クラブ会員数人だけが出席した日本記者クラブの大ホールと、事前に登録した日本記者クラブ会員、報道機関記者のパソコンをインターネットで結ぶ形で行われた。

日文 小岩井忠道 (JST 客観日本編集部)

関連サイト

日本記者クラブ 『『新型コロナウイルス』福井トシ子・日本看護協会会長』

<https://www.jnpc.or.jp/archive/conferences/35645/report>

同 「YouTube 会見動画」

<https://www.youtube.com/watch?v=ffyPl8Y4cbw&feature=youtu.be>